

「行革」路線に基づく平和予算、市民サービス削減などを批判 新年度一般会計予算などで橋本正幸議員が反対討論

3月議会の最終日、各議案についての討論が行われました。討論には市民クラブ以外の各会派の代表が参加しました。日本共産党議員団からは橋本正幸議員が登壇しました。

同議員は新年度一般会計予算については、「妊産婦医療費の完全無料化、移住・就業支援金制度の創設などいくつか評価できる点があるが、重大な問題点を持っている」としたうえで、①第6次行政改革推進計画にもとづいて平和予算の一部や市民サービス削減に乗り出したこと、②総務省の自治体再編につながりかねない動きを積



「我々が先取りしたもの」との評価にびっくり

平成の大合併以来の「自治体のあり方」を「書き換える」重大な自治体「改革」と言われている総務省の「自治体戦略2040構想」。私は今議会の一般質問でとりあげ、村山市長に見解を求めました。これに対して市長は、「我々が（14市町村合併で）先取りしたことを国の姿として、地域の姿として今回まとめたもの」と積極的に評価しました。とんでもないことです。

「自治体戦略2040構想」の中味は、人口減少と高齢化が今後、さらに深刻化し、暮らしを支える人材・機能・施設等が縮減するとして、自治体行政のフルセット主義からの脱却を訴え、①スマート自治体への転換、②公共私による暮らしの維持、③圏域マネジメントと二層性の柔軟化などを進めることが中心です。これに対して全国市長会会長などが反対の声を上げたのは当然のことです。

村山市長は、「全国市長会の会長が反対したのは、地域の声を聞かなかったことは問題だと言っておるのであって内容に問題ありと言っているわけではない」とのべましたが、

今後、この構想は大きな問題となっていくことでしょう。



極的に評価していること、③学校給食の民間委託を加速させていること、④市民合意がないなかで（仮称）上越市体操アリーナの建設費などが計上されていること、の4点をあげ、反対しました。賛成討論を行った会派は、新年度予算の説明をし、「いずれも適正かつ妥当」と評価していました。

消費税引き上げを視野に入れた議案には反対

今回の議会には10月から実施が予定されている消費税の税率引き上げを視野に入れた使用料の改定、利用料金上限額の改定等を内容とした議案が目白押しでした。これらについて橋本議員は、「今国会では統計不正が浮上し、国民の怒りが高まっている。消費税5%から8%への税率引き上げによる景気の悪化がまだまだ収まらない。消費税10%への引き上げについても、その根拠が国会審議の中で総崩れとなっている。そうしたなかで、10月からの消費税引き上げを視野に入れた条例改正や予算編成を行うことは、関係市民に負担増を強い、地域経済不況を悪化させることにつながるとして反対しました。他会派は賛成でした。」



【苗どこ】23日、「苗どこ」づくりをしているお母さんに会いました。ちょうど、中に入れるワラを押し切りで切っておられるところでした。「苗どこ」も「押し切り」もなかなか見られなくなりましたね。



【キクザキイチゲ】再掲。今回は白い花を咲かせたキクザキイチゲです。キンポウゲ科の多年草。花の裏側はほんのりとピンク色になっていました。なぜ、ピンク色が出るのか知りたいです。写真は吉川区代石にて3月10日撮影しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1903 2019.3.31

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五五一回

団子まき

ずっと前から一度参加してみたいと思っていたことがあります。毎年三月、お寺で行われる団子まきです。六九歳の誕生日を前に、ようやくこの願いが実現しました。

幸運でした。というのも、大島区板山の従弟に電話をした、その日が田麦の竹林寺での団子まきの日だったのです。電話で「午後から団子まきでいいいで……。」という従弟の言葉を聞き損ねていたら、まだ願いは実現しなかったかも知れません。

竹林寺の団子まきはお彼岸の中日である二日の午後から行われました。この日は晴天で、気温は二五度近くにまで上昇していました。私は「しんぶん赤旗」日曜版の配達の一つものコースを変更し、竹林寺へと急ぎました。

お経が始まる一〇分前にお寺に到着。お御堂に入ると、ジュンコさんやマコトさんの奥さんなど知っている人を何人も確認できました。全体では、地元の田麦の人たちを中心に三〇人以上の人たちが集まっていたと思います。

ご住職は、交通事故で、まだ入院中だと聞いていました。ところがこの日、車イスに乗って登場されたのです。驚きました。車イスを押していたのはお連れ合いです。お御堂の中で段差があるところは二か所、ここを上がるのに「苦労でした。でもほぼ予定した時刻に間に合いました。

お経が始まったのは午後一時四分です。車イスに乗った住職のすぐ後ろにはお連れ合いが控えておられ、心配そうに見守っておられました。

少し遠くにいたせいかも知れませんが、ご住職がお経を読む声はときどきしか聞こえてきませんでした。ご住職が木魚をたたきはじめると、その様子を見ていた最前列の男の子は横になったり、あお向けになっ

たりしていました。とてもかわいかったですね。

お経は六分ほどで終了。ご住職は私たちに挨拶するために、杖だけを頼りに私たちの正面の位置に移動されました。このときも、そばにはお連れ合いがずっとついておられました。ちょっとでもぐらつければ支えるつもりでおられたのだと思います。

ご住職の挨拶は、ご自身の自損事故の話からはじまりました。本人もよく生きていたと思うくらい、危ない事故だったようです。「皆さんの信心のおかげか、あるいはオレの精進のおかげか」というくらいには、みんな笑いましたね。そして最後、お釈迦様のお骨を細かくして団子にしたという団子まきの起源についても語りました。

この挨拶の途中、「押すな」という声がかかりました。ご住職をわきで支えていたお連れ合いの力が入りすぎたか、それとも住職が倒れかけたのか、真相はわかりませんが、私には「夫婦仲がいい」というふうには見えませんでした。

その後、ケンジさん、マモルさん、マコトさん、ケンイチさんが団子を山盛りにした大きな木の桶を運び入れました。団子は白、赤、緑と色がついていますから、遠くから見てもよくわかりました。

ケンジさんの「ほしや、いいかね」で団子まきは始まりました。上の方からバサバサと降ってくる団子、大人も子どもも拾う人はビニール袋を広げて、無我夢中です。私も取材どころではなくなりました。

初めて参加した団子まき、建前するときの餅まきと同じように人間たちを興奮させてくれました。そしてこの日、団子を拾う喜びを濃厚にしてくれたのは、支え、支えられるご住職とお連れ合いの姿でした。

「ライオン像のある館」、4月1日オープン

4月1日からの「ライオン像のある館」のオープンを前に23日、内賢会が行われ、参加してきました。

リニューアルされた建物は直江津の歴史と文化を発信する拠点です。本館はこれまでよりもすっきりした感じがしました。金庫の中をよく見たのは初めてです。中は桐材を使っているとは驚きでした。

この日、一番注目したのは別館です。ここは初めて入らせてもらいました。2階の部屋は天井板といい、

えもんかけといい、とてもしゃれた造りになっていて素敵でした。ここから海が見えたら、もっといいんですけどね。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月20日(水)	3月27日(水)
上越南消防署	0.043	0.053
上越北消防署	0.047	0.040
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.047	0.047
頸南消防署	0.067	0.053
東頸消防署	0.047	0.050
高士分遣所	0.043	0.050
名立分遣所	0.050	0.053

市内の小学校でも卒業式



中学校に続いて、先週、市内の小学校でもいっせいに卒業式が行われました。

私は地元の吉川小学校の卒業式に行きましたが、今回も池田校長が描かれた絵と卒業生への挨拶が話題となりました。

挨拶では、イチロー選手の「小さなことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただひとつの道だ」を引用して、毎日すべき小さなことの積み重ねが成長につながると訴えておられました。